

本プレスリリースは各法人から発表しているため、同じ内容で各々がお送りする場合がございます。

報道関係各位

丸善雄松堂株式会社
国立大学法人東京学芸大学
NPO 法人東京学芸大こども未来研究所

丸善雄松堂、東京学芸大学および NPO 法人こども未来研究所が 想像(創造)力を育む「こどものまなび」プログラムの共同研究開始

丸善雄松堂株式会社(本社:東京都港区、代表者:代表取締役 矢野正也/以下:丸善雄松堂)、国立大学法人東京学芸大学(所在地:東京都小金井市、学長:國分充/以下:東京学芸大学)、NPO 法人東京学芸大こども未来研究所(所在地:東京都小金井市、理事長:大谷忠/以下:こども未来研究所)は、産学連携により、「こどものまなび」に関する共同研究をこの度開始したことをお知らせいたします。

【背景】

社会の変容・多様化が進む未来において、幼少期から自ら考え、選ぶ力を養い、様々な事に触れ、気づく機会を提供することは、昨今の少子高齢化において、社会基盤を形作る上で重要さが増しています。このことから、丸善雄松堂、東京学芸大学、こども未来研究所は「アソビリティー(遊力)※1」を通じてこどもの想像(創造)力を育むメソッドの構築、提供プログラムの開発、それらに関わる人材の育成までを三位一体で実施するための共同研究を開始いたしました。

※1 「アソビリティー(遊力)」とは、本共同研究プロジェクトにおける造語で、クリエイティビティの根源となる、こどもが元来持ち得る力と定義しています。

【概要】

東京学芸大学は学術的な基本的理論の構築を担当し、こども未来研究所の運営施設や丸善雄松堂の受託施設で、実験的なモデル実践へ進めます。また、丸善雄松堂は研究成果のビジネス実装として全国的な横展開も視野に、理論が裏付けられた事業モデルの策定から事業化を担当します。

現段階では、東京学芸大学及びこども未来研究所の「アソビリティー(遊力)」の考え方をベースに、こどもの持つアソビリティー(遊力)を解放するメソッドおよび屋内外でのプログラム実践を予定しています。その結果から、こどもたちの自由なアソビリティー(遊力)の発揮を促すプログラムや仕組みの検証を行い、このプログラム実施者についても従来の「指導者」の枠を越えた人材育成のメソッドと育成プログラム構築を3者それぞれの役割で担っていきます。

東京学芸大学およびこども未来研究所は、本共同研究を通じて、こどもの想像(創造)力を育むことに繋がるあ

そびの環境デザインの学術的な探究を進めます。また、丸善雄松堂は、従前事業の顧客層を大学等の高等教育機関からさらに拡大し、より低年齢層のまなびの市場へ参入を目指します。

そして、教育機関の「授業」などを通じて習得されるものに限らない、様々な「あそび」と「まなび」の機会の提供を目指すとともに、こども自身のアソビリティー(遊力)の解放だけではない、保護者や周りの大人のアソビリティー(遊力)を解放することも目指し、想像(創造)力に溢れた社会づくりに貢献していきます。

【今後の展開】

政府の推し進める科学技術政策である Society5.0 だけでなく、文部科学省が推進する教育における ICT の活用など、こどものまなびを巡る環境でもオンラインの活用が急速に進んでいます。そのため、リアルでの展開のみならず、オンラインの活用も想定しており、リアルとオンラインを組み合わせることで、地域・自治体と連携した地方創生プログラムの提供など、より厚みのある事業展開が可能になると考えています。将来的にはリアルと連携したまなびや子育てについてのコンテンツの展開や、まなび手同士のコミュニティの構築、そこからの学習ログの蓄積・活用等も想定しています。

【参考情報】

● 丸善雄松堂について <https://yushodo.maruzen.co.jp/>

丸善雄松堂は、大学をはじめとする全国の教育・研究機関への学術資料の提供や学習空間・商空間のプロデュース、図書館など教育機関・文化施設の運営支援等の事業を通じ、150 年以上にわたり、日本の教育・科学・文化の発展に貢献してきました。現在、こうした知見をもとに、地域や社会に広がる「まなびのつながり」を育み、人びとの持続的なまなびを促進する環境づくりを支援しています。

※2016 年 2 月に丸善(株)(1869 年 1 月創業)と(株)雄松堂書店は経営統合し、丸善雄松堂(株)になりました。

● 東京学芸大学 <https://www.u-gakugei.ac.jp/>

東京学芸大学は、人権を尊重し、日本の教員養成を担う中核的な大学として、すべての人々が共生する社会の建設と世界平和の実現に寄与するため、豊かな人間性と科学的精神に立脚した学芸諸般の教育研究活動を通して、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的としています。また、複雑化・多様化する教育の課題に対して、協働して教育現場のさまざまなニーズに応える教育支援職の養成にも取り組んでいます。教育の最先端の研究をリードする大学ならではの産学連携、地域貢献も活発です。教育研究の実績、そして広く緑豊かなキャンパスまですべてを活かし、学校教育とその周囲を支える教育マインドをもった人材を育成する「教育の総合大学」を目指しています。

● こども未来研究所について <https://codomode.org/>

「遊びは最高の学び！」を理念として、東京学芸大学の「知」である子どもに関わる「ひと」「こと」「コミュニケーション」を社会に発信する NPO 法人。教育に関するノウハウを地域に還元していくことを目指し、東京学芸大学の教育に関する実績を様々なニーズに合わせてカスタマイズし、提供しています。

■本件に関する問い合わせ

丸善雄松堂株式会社

担当;事業企画推進室 大熊、藤澤、岩田

Mail:BizDev@maruzen.co.jp

特別非営利活動法人 東京学芸大こども未来研究所

担当:高橋

Mail:contact@codomode.org

TEL :042-312-4112

■丸善雄松堂株式会社に関する問い合わせ

丸善雄松堂株式会社

担当;経営管理部 川澄、谷山

Mail:my_cc@maruzen.co.jp

TEL :03-6367-6006

FAX:03-6367-6153